

2018年12月6日

報道関係各位

株式会社OKB総研

「OKB景況指数」2018年12月期調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 五藤 義徳)は、3ヵ月ごとに景況調査を行い「OKB景況指数(旧K-REX)」を公表しております。このたび、2018年12月期調査報告を取りまとめいたしましたのでご案内します。

調査結果要旨

景況の水準	水準は10期ぶりに低下。 製造業の受注好調は持続するも、愛知県、岐阜県とも景況回復に一服感。
景況の方向	3ヵ月後は、愛知県、岐阜県とも弱含む見通し。 個人消費は強含む一方、企業において貿易摩擦などへの懸念から弱含む。

OKB景況指数 とは・・・

OKB大垣共立銀行の支店長を対象に3ヵ月ごとに調査を実施

東海3県にある**OKB大垣共立銀行の支店長を調査対象**としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。

県域より狭い地域の景況の水準と方向を集計

「名古屋」、「西三河」、「西濃」など、**県域より狭い地域の景況水準を表す指標**を公表している。

(注) 東海3県の当該県域全体を対象としていない(OKB大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 中澤 TEL 0584-74-2615】

OKB景況指数（2018年12月期調査報告）

調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の法人取引のある支店の支店長
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気の方角
- (3) 調査方法 2018年11月下旬に調査票を配付し、11月末までに回収

調査結果

景気的水準： 10期ぶりに低下。製造業の受注好調は持続するも、愛知県、岐阜県とも景気回復に一服感。
景気の方角： 3ヵ月後は、愛知県、岐阜県とも弱含む見通し。個人消費は強含む一方、企業において貿易摩擦などへの懸念から弱含む。

	景気的水準(2018年12月期)	景気の方角(3ヵ月後見通し)
全地域	<ul style="list-style-type: none"> ・景気全般は+28.1（前回は▲2.6）と10期ぶりの低下となるも、高水準を維持。 	<ul style="list-style-type: none"> ・▲6.4と「悪化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <p>好調な自動車関連製造業や建設業を中心に東海経済は引き続き堅調に推移。ただし、製造業では米中貿易摩擦、中国経済の減速を懸念し、先行きに慎重な企業も見られる。また、消費税増税を意識した住宅ローン案件の申込・相談が増加している。</p>	
県別	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県では+35.9（前回は▲2.1）と2期ぶりに低下した。 ・岐阜県では+21.8（前回は▲2.1）と2期連続で低下した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県は▲2.8と「悪化」超 ・岐阜県は▲7.4と「悪化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <p>・愛知県は、自動車関連、工作機械製造業や建設業で受注好調。ただし、貿易摩擦や新興国の景気減速を懸念し、製造業の一部で様子見が始まっている。</p> <p>・岐阜県は、自動車関連を中心とした製造業や建設業は好調。ただし、アパレル、陶磁器など地場産業の業況は厳しい。</p>	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・東三河、東濃・可茂を除く8地域がプラス水準となった。前回調査から、西三河、西濃、飛騨・郡上の3地域が上昇した。一方、東三河、東濃・可茂、桑名・四日市などの6地域は低下した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「良化」超 東尾張 ・「悪化」超 名古屋、西三河、岐阜、西濃、東濃・可茂、桑名・四日市
	<p>(支店長コメント)</p> <p>【東尾張地域】 自動車関連製造業を中心に好調。工作機械製造業は足元好調であるも、中国の設備投資減退により見通しは不透明。</p> <p>【岐阜地域】 中国向けでは先行き不透明感があるも、製造業は依然好調。「好景気という実感はないが、好決算だった」という企業が多い。</p>	
項目別	<ul style="list-style-type: none"> ・「全地域」を項目別に見ると、「雇用」が+72.8（前回は▲0.6）と人手不足感は強く、労働需給はタイトな状況が続く。「個人消費」、「設備投資」、「企業収益」、「資金需要」は前回から上昇。「生産活動」は、前回同水準で30ポイント台を維持。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「増加」超 「個人消費」、「資金需要」 ・「減少」超 「生産活動」、「設備投資」、「企業収益」 ・「不足」超 「雇用」
	<p>(支店長コメント)</p> <p>【個人消費】：賃金上昇は中小企業では限定的。パート等の時給上昇は続いているが、正社員へ波及はあまり見られず、個人の節約志向は続く見通し。ただし、住宅や自動車など高額品では消費税増税を意識した駆け込み需要が見られる。</p> <p>【生産活動】：自動車関連、工作機械製造業は堅調。ただし、米中貿易摩擦や中国経済の減速を懸念し、先行きは慎重な見通し。</p> <p>【設備投資】：愛知県では、省力化、省人化の設備投資、工場建設など積極的な動きが見られる。岐阜県では、製造業など一部で積極的な動きがあるものの、新規設備投資には慎重な姿勢、更新需要が中心。</p> <p>【企業収益】：好調な生産活動を受け、企業収益は好調。ただし、人件費高騰・原油高・原料高が圧迫要因となっている。</p> <p>【雇用】：全業種で慢性的な人手不足が続いている。製造、建設、運送、介護分野では特に深刻。外国人の受け入れや人材紹介業とのマッチングを検討する企業が増えている。</p>	

* (支店長コメント) は、該当エリア・項目の調査結果(水準・方角)と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

- ①「景気の水準」・・・調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。
 ②「景気の方角」・・・景気の「水準」に対して、景気の「方角」を示す指数。

右記の例の通り、各項目の回答にポイントを付与。支店の規模によるウェイト調整を行った上で、最高点が100、最低点が▲100となるように、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」(2018年12月期)

地域名	景気全般		個人消費		生産活動		設備投資		企業収益		資金需要		雇用	
	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し
名古屋	35.3 (0.0)	↔	8.8 (+8.8)	↔	50.0 (+14.7)	↔	35.3 (+5.9)	↗	26.5 (+5.9)	↔	2.9 (+8.8)	↔	76.5 (▲5.9)	↗
東尾張	44.0 (▲4.0)	↗	2.0 (▲4.0)	↗	44.0 (▲2.0)	↗	46.0 (▲2.0)	↔	44.0 (+8.0)	↗	0.0 (▲6.0)	↔	68.0 (▲6.0)	↗
西尾張	19.4 (▲2.8)	↔	13.9 (+16.7)	↔	22.2 (▲13.9)	↔	33.3 (+5.6)	↔	16.7 (+2.8)	↔	▲5.6 (+2.8)	↔	77.8 (+2.8)	↗
西三河	62.5 (+12.5)	↔	37.5 (0.0)	↔	62.5 (+12.5)	↔	62.5 (+25.0)	↔	37.5 (0.0)	↔	37.5 (0.0)	↔	62.5 (▲25.0)	↗
東三河	0.0 (▲33.3)	↔	0.0 (0.0)	↔	0.0 (0.0)	↔	▲16.7 (▲16.7)	↔	0.0 (▲16.7)	↔	0.0 (0.0)	↔	66.7 (+16.7)	↔
岐阜	25.6 (▲3.5)	↔	0.0 (+3.5)	↗	36.0 (+5.8)	↔	19.8 (▲4.7)	↗	19.8 (▲1.2)	↔	▲3.5 (+7.0)	↗	73.3 (▲1.2)	↗
西濃	31.5 (+5.6)	↔	1.9 (+9.3)	↗	29.6 (▲11.1)	↔	14.8 (▲3.7)	↗	25.9 (0.0)	↔	▲13.0 (+3.7)	↔	81.5 (+11.1)	↗
東濃・可茂	0.0 (▲16.7)	↔	▲11.1 (0.0)	↔	5.6 (0.0)	↔	11.1 (+5.6)	↔	0.0 (▲11.1)	↔	▲5.6 (0.0)	↔	66.7 (▲5.6)	↗
飛騨・郡上	16.7 (+16.7)	↔	▲16.7 (0.0)	↔	16.7 (+16.7)	↔	16.7 (+16.7)	↔	33.3 (+33.3)	↗	16.7 (+16.7)	↗	66.7 (+16.7)	↔
桑名・四日市	33.3 (▲16.7)	↔	0.0 (0.0)	↔	33.3 (▲16.7)	↔	33.3 (0.0)	↔	16.7 (▲16.7)	↔	0.0 (0.0)	↔	66.7 (0.0)	↔
愛知県(5地域)	35.9 (▲2.1)	↔	10.6 (+4.9)	↗	40.1 (+0.7)	↔	39.4 (+4.2)	↔	30.3 (+4.2)	↔	3.5 (+0.7)	↔	71.8 (▲4.9)	↗
岐阜県(4地域)	21.8 (▲2.1)	↔	▲2.7 (+4.3)	↗	27.1 (+0.5)	↔	16.5 (▲1.1)	↔	18.6 (▲0.5)	↔	▲5.3 (+5.3)	↗	73.9 (+2.7)	↗
三重(1地域)	33.3 (▲16.7)	↔	0.0 (0.0)	↔	33.3 (▲16.7)	↔	33.3 (0.0)	↔	16.7 (▲16.7)	↔	0.0 (0.0)	↔	66.7 (0.0)	↔
全地域	28.1 (▲2.6)	↔	2.9 (+4.4)	↗	32.7 (0.0)	↔	26.6 (+1.2)	↔	23.4 (+0.9)	↔	▲1.5 (+3.2)	↗	72.8 (▲0.6)	↗

(※1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイントを付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(※2) ()内の前回は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(※3) 見通しは「図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」の「良化(増加・不足) - 悪化(減少・過剰)」の数値が、プラスの場合は↗、マイナスは↔、0は↔で表記。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2019年3月期見通し)

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」 - 「悪化」	「増加」 - 「減少」	「増加」 - 「減少」	「増加」 - 「減少」	「増加」 - 「減少」	「増加」 - 「減少」	「不足」 - 「過剰」
名古屋	▲5.9	0.0	▲5.9	5.9	▲5.9	0.0	58.8
東尾張	4.0	16.0	4.0	▲4.0	8.0	0.0	32.0
西尾張	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
西三河	▲25.0	▲25.0	▲25.0	0.0	▲25.0	0.0	75.0
東三河	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
岐阜	▲2.3	4.7	0.0	2.3	▲14.0	2.3	34.9
西濃	▲7.4	18.5	▲3.7	7.4	▲18.5	0.0	44.4
東濃・可茂	▲22.2	0.0	0.0	▲11.1	▲11.1	0.0	11.1
飛騨・郡上	0.0	0.0	0.0	▲33.3	33.3	66.7	0.0
桑名・四日市	▲33.3	0.0	▲33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
愛知県(5地域)	▲2.8	2.8	▲2.8	0.0	▲1.4	0.0	42.3
岐阜県(4地域)	▲7.4	7.4	▲1.1	▲1.1	▲11.7	5.3	30.9
三重(1地域)	▲33.3	0.0	▲33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
全地域	▲6.4	5.3	▲2.9	▲0.6	▲7.0	2.9	34.5

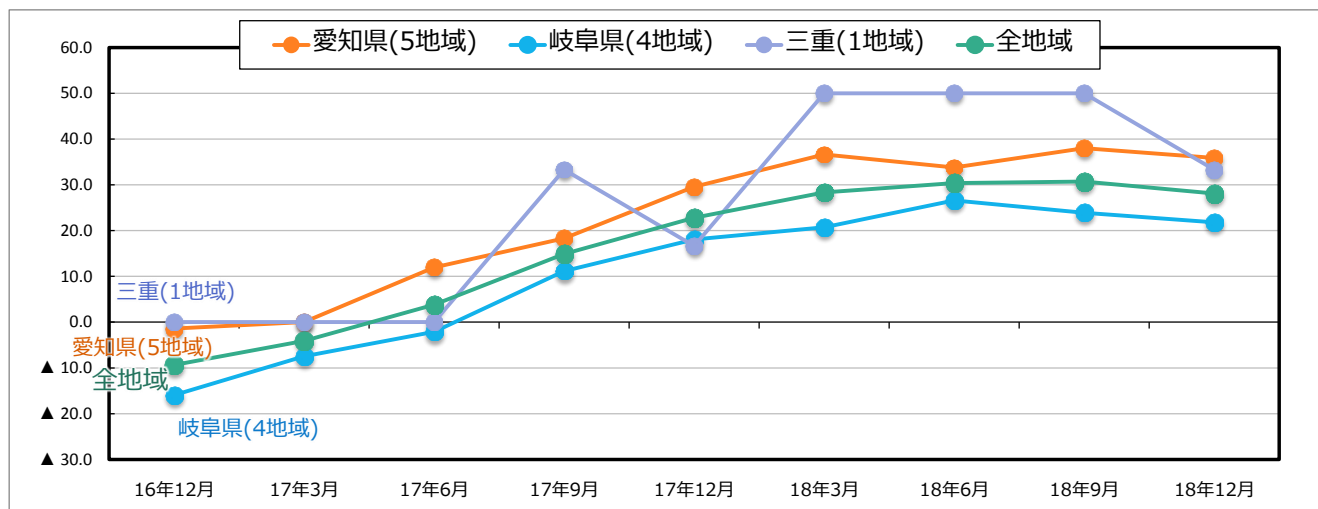
(※) 景気全般は、3ヵ月後には景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%) - 「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%) - 「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

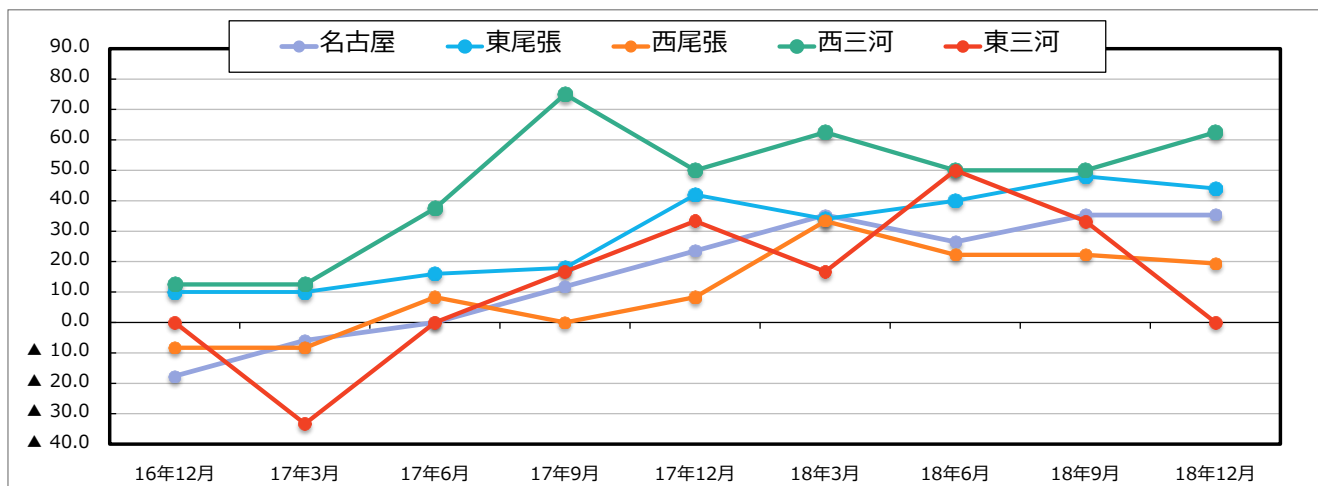
「景気の水準」の推移

■ 県別

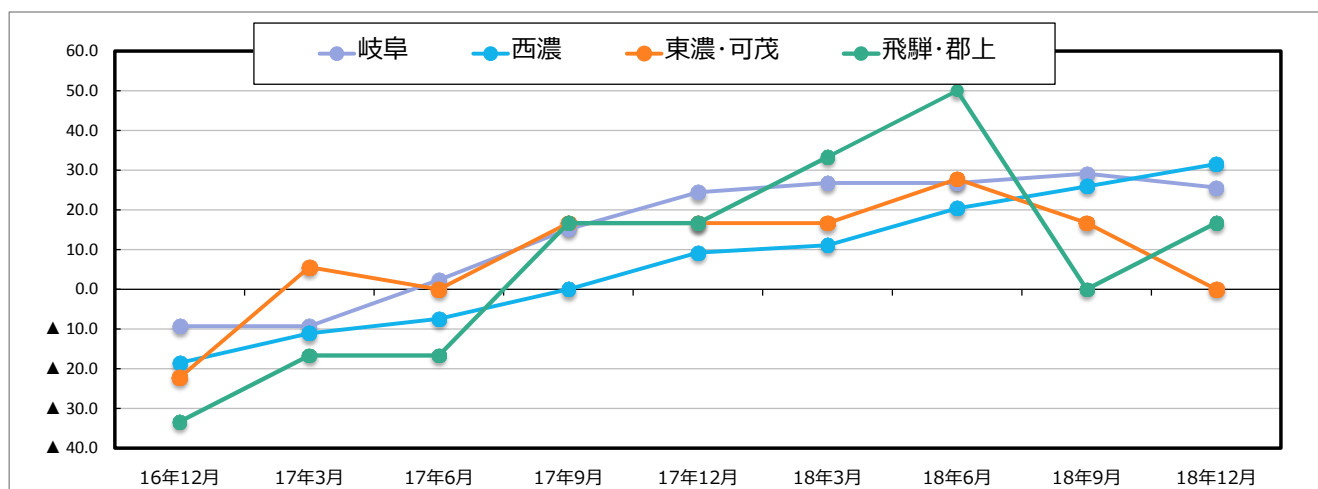


■ 地域別

① 愛知県内



② 岐阜県内



以上